

優れた大学院教育に対する文部科学省の重点支援事業

「組織的な大学院教育改革推進プログラム」に採択！ 理学*工学横断型の人材育成に取り組みます

優れた大学院教育の取組に対する重点的支援事業である「組織的な大学院教育改革推進プログラム」（文部科学省の補助事業）に、首都大学東京 大学院の取組が採択されました。

〔採択された教育プログラム〕（詳細は別紙をご覧ください。）

教育プログラムの名称	研究科・専攻名	取組実施担当者
理工横断型人材育成システムの再構築	理工学研究科 数理情報科学専攻、 電気電子工学専攻、機械工学専攻	倉田和浩教授

この取組は、理学分野である数理情報科学と、工学分野である電気電子工学及び機械工学との連携プログラムであり、理学と工学の発想とアプローチの双方を理解し俯瞰できる横断型人材の育成を目指しています。

これにより、今後新たなキャリアパスとして、工学的素養を持つ数学教員や、基礎科学に立脚し革新的開発を行う高度技術者等にも、優秀な大学院修了者を輩出していきます。

首都大学東京では、平成19年度にこの支援プログラムに採択された取組をすでに3件実施中であり、今回の採択により合計4件となります。

【参考】「組織的な大学院教育改革推進プログラム」について

大学院教育の実質化及びこれを通じた国際的教育環境の醸成を推進することを目的として、社会の様々な分野で幅広く活躍する高度な人材を育成する大学院を対象として、優れた組織的・体系的な教育取組に対して重点的に支援するもの。**国公立大学を通じた競争的環境の下で、特色・個性ある優れた取組を選定し、国が重点的な財政支援を行います。**

補助事業期間は3年間で、補助金基準額は1件当たり年間4千万円が上限（補助金交付額は今後文部科学省において決定）。今回は134大学163件の申請があり、そのうち29件が採択されました。**（今回、公立大学の採択は首都大学東京のみ）**

〔問い合わせ先〕首都大学東京
教務課・大学教育推進担当 (042) 677-5670
〔教育プログラムの内容について〕
理工学研究科数理情報科学専攻 (042) 677-2459

理工横断型人材育成システムの再構築

(数理科学を基盤とした取り組み)

首都大学東京 大学院 理工学研究科

数理情報科学専攻・電気電子工学専攻・機械工学専攻

理学分野である数理情報科学と、工学分野である電気電子工学及び機械工学との連携プログラムであり、大学院生が連携セミナー、連携・横断プロジェクトを企画・参加するなどの実践的な交流を通じて、「知識力」「企画力」「展開力」を備えた、理学と工学の発想とアプローチの双方を理解し俯瞰できる横断型人材の育成に取り組みます。

プログラムの特徴

1. 理工横断型プログラムと理工の専攻をまたぐ複数指導教員制

横断講義，連携セミナー，横断・連携プロジェクト等を含む実践的な理工横断型プログラム(履修コースワーク)を設定，理工の専攻をまたぐ複数指導教員制による履修プロセス管理

2. 数理科学を基盤とした理工双方向の日常的交流の活性化

TA や連携助教を活用した数学リフレイン教育，アドバンスチューター等の活用による数電機クリニック，SNS プラットホームの展開

3. 「国際的コミュニケーション能力」の養成・強化

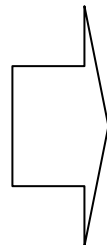
理工横断型の国内・海外インターンシップ，国際会議派遣の支援強化

理工横断型プログラム

- 横断講義，
- 連携セミナー・キャリアパスセミナー
- 横断プロジェクト
- インターンシップ等

複数指導教員制

理工横断型人材育成プログラム



大学院教育の実質化

新たなキャリアパスの開拓

各専攻コアカリキュラム

数電機クリニック，SNS プラットホーム

- 工学的素養ある中・高数学教員
- 産業界等で活躍できる数理科学者
- 基礎科学に立脚し革新的開発を行う高度技術者
- 基礎研究と産業応用を結ぶコーディネータ等